授業の様子

研究計画発表会

大学院生VOICE

オンライン授業と的確な直接指導により、研究の楽しさを実感。

きたむら　まゆみ
北村 真由美さん
2020年度入学生
大学教員
看護師

私は、看護系大学に勤務していますが、学生の学修支援を行ううえで、研究や看護教育についてより深く学ぶ必要があると感じ、大学院に入学しました。前職では特別支援学校の看護師として勤務しており、医療的ケアの必要な子どもにとって看護師の役割は何か疑問を抱いていました。そこで、家族が看護師に期待していることを研究テーマとして研究に取り組むことにしました。コロナ禍における授業や演習は、オンライン授業が併用されていますが、通学時間を気にすることなく授業に向かうことができることはありがたく思います。しかし研究が進み、インタビューの分析など込み入ったところは、指導教員からの直接の指導を受けるようにしています。研究を進めていく中で、時に壁にぶつかることもありますが、これらの困難を乗り越えていくことも研究の楽しさであり、学べる環境が整っていることに感謝しています。

大学院生VOICE

子育て世代にとっての健全な育児とは？科学的根拠を持った保健活動を追究。

いわさき　ゆきこ
岩崎 由紀子さん
2021年度入学生
行政勤務
保健師

私は保健師として行政で働いており、「ゆりかごから墓場まで」の言葉通り地域住民を広く対象とした保健活動を行っています。現場では、多種多様な課題とニーズが求められ，ニーズに見合う効果的・効率的な支援について経験と勘のみでは切り開けない事業の運用とニーズの高さに行き詰まりを感じていました。時代の流れが速い分、軸足のぶれない科学的根拠を持った事業展開の必要性を感じるとともに自分自身の知見を広げるためにも大学院の入学を決意しました。現在，子育て困難感を持つ子育て世代がいかに肯定感を持ちながら健全な育児ができるのか、また保健師としてそれを支えるためどうしたらいいのかといった課題を追及するために指導教員の先生方とディスカッションをしています。大学院では，新しい考え方や学びを吸収し、領域を超えた院生との交流により多くの刺激を受け，充実した学校生活を送っています。

施設・設備

図書館

エントランスロビー

院生室

看護実践研究センター

広く学べるさまざまな研修プログラム

年間を通して、看護の研究方法や看護倫理、多職種連携などをテーマとした看護職向け研修プログラムを提供しており、大学院生も参加できます。また、臨床現場で行う個別の研究に関する相談にも応じています。

詳しくはHPをご覧ください